

(様式3)

## 平成28年度 児童生徒指導に関する取組

### 1 児童生徒指導上の主な実態

#### (1) 問題行動等調査から

- ・粗暴な行動・器物損壊等の問題行動や怠惰・あそび非行系の不登校生徒の数が極端に減少している。  
しかし、家庭や人間関係の悩みを抱えていたり、無気力による不登校生徒が数名いる。

#### (2) 学習と生活についてのアンケートなどから

- ・「平成27年度うつのみや学校マネジメントシステム全体アンケートの「肯定的回答割合比較表」よりこれまでの課題であった、①時と場に応じたあいさつをしている。②時と場に応じた言葉づかいをしているという2つの質問項目について、今年度の本校生徒の肯定割合は、宇都宮市全体の肯定割合を上回るようになり、年々高まってきている。

【①94.9%←(H26) 84.3% ②90.3%←(H26) 78.2%】

#### (3) 学校生活の状況から

- ・「自分の思いや考えをうまく他人に伝えることが苦手」  
「自分の感情がコントロールできない」「他者の気持ちを理解するのが苦手」「他者とうまく接することができない」など、いわゆるソーシャルスキルといわれる技能が不足していると感じることが多い。

### 2 今年度の重点目標

一人ひとりの心を育てる生徒指導の推進

～ ルールやマナーを守り、思いやりの心をもって行動できる生徒の育成 ～

### 3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

#### (1) ソーシャルスキルを身につけさせる指導の充実

- ☆ あいさつ、言葉づかい、表現、コミュニケーション等

#### (2) Q-U検査を活用した学級経営の推進とSC・関係機関との連携を図った教育相談体制の充実

- ・ Q-U検査の実施（6月・12月）・教育相談週間（6～7月、夏休み中・11月、1月）

#### (3) 読書活動、道徳の時間（「特別な教科」道徳への対応）、ボランティア活動など生徒一人ひとりの豊かな心を育む活動の充実

- ☆ 生命の尊重や思いやりについての道徳の授業の公開（6月、11月 全学級）

#### (4) いじめの根絶に向けた取組の充実と携帯電話・スマートフォン等の適切な使用に関する指導の充実

- ・ 「悩み」調査・「いじめ」調査・「学級アンケート」の実施（4月、5月、9月、1月）
- ・ 「いじめゼロ運動」強調月間（5月、10月）
- ・ いじめ防止標語優秀作品の地域における看板掲示（地域協議会との連携）
- ・ 新入生保護者会における「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言」の啓発（12月）
- ・ ネットトラブル防止教室（2月）

#### (5) イエローカード制度の活用による学校秩序の構築（家庭との連携）

- ☆ 学校のルールに反する行動を容認しない指導（安心して学べる環境の保障）

### 4 その他

- ☆ 集団生活における基本的なルール指導の徹底

- ・ 登校指導（通年）・交通安全教室（5月）
- ・ 薬物乱用防止教室（5月）
- ・ 学級ごとのあいさつ運動（毎週金曜日）
- ・ 小中合同あいさつ運動
- ・ チャイム着席の徹底（通年）

- ・ 緊密な連携による問題行動の未然防止と早期対応
- ・ 生徒一人一人の人格を尊重 ※ 生徒の声に真剣に耳を傾ける
- ・ ほめる・励ます・認める・しかる

- ☆ 率先垂範の姿勢（あいさつ・言葉遣い・清掃・時間を守るなど） ※ 手本を示して導く（師弟同行）

- ☆ 学校行事、生徒会活動、学級活動、部活動、ボランティア活動などを通して、生徒自ら考え、自発的な行動や自己肯定感、自己有用感を育む活動の促進